ともに挑む。ともに実る。
MIZUHO みずほ銀行

みずほCustomer Desk Report 2024/10/21 号(As of 2024/10/18)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

				公示仲値	150.14
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	150.14	1.0829	162.49	1.3014	0.6700
SYD-NY High	150.28	1.0869	162.87	1.3070	0.6719
SYD-NY Low	149.37	1.0826	162.21	1.3012	0.6695
NY 5:00 PM	149.53	1.0867	162.50	1.3048	0.6707

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	43,275.91	36.86	日本2年債	0.4300%	0.0000%
NASDAQ	18,489.55	115.94	日本10年債	0.9700%	0.0100%
S&P	5,864.67	23.20	米国2年債	3.9494%	▲0.0257%
日経平均	38,981.75	70.56	米国5年債	3.8790%	▲0.0242%
TOPIX	2,688.98	1.15	米国10年債	4.0819%	▲0.0116%
ｼｶｺﾞ日経先物	39,270.00	▲ 35.00	独10年債	2.1820%	▲0.0190%
ﾛﾝﾄﾞﾝFT	8,358.25	▲ 26.88	英10年債	4.0555%	▲0.0330%
DAX	19,657.37	73.98	豪10年債	4.3100%	0.0720%
ﾊﾝｾﾝ指数	20,804.11	725.01	USDJPY 1M Vol	11.50%	▲0.07%
上海総合	3,261.56	92.18	USDJPY 3M Vol	10.83%	▲0.08%
NY金	2,730.00	22.50	USDJPY 6M Vol	10.73%	0.06%
WTI	68.69	▲ 1.40	USDJPY 1M 25RR	▲0.81%	Yen Call Over
CRB指数	279.55	▲ 2.16	EURJPY 3M Vol	9.81%	▲0.11%
ドルインデックス	103.49	▲ 0.33	EURJPY 6M Vol	9.98%	0.02%

東京	東京時間ﾄﾞﾙ円は150.14ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。ｵｰﾌﾟﾝ直後には三村財務官による円安けん制発言もあり、上値重く推移。150円ちょうどを挟んで神経質な展開が続いたが、その後市場予想よりも良好な中国の経済指標の結果を受けて、ｸﾛｽ円主導でﾄﾞﾙ円はやや下落。一時149.78まで値を下げるも、引けにかけてはﾄﾞﾙ買い優勢となり結局149.90ﾚﾍﾞﾙで海外時間に渡った。
ロンドン	ﾛﾝﾄﾞﾝ市場のﾄﾞﾙ円は、149.90ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。特段の材料もなく150円を挟んだもみ合い。150.02ﾚﾍﾞﾙでNYに渡った。ﾎﾟﾝﾄﾞﾄﾞﾙは、1.3064ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。朝方に発表された英9月小売売上が大幅に予想を上回ったことで堅調な立ち上がりも勢いは続かず1.3046ﾚﾍﾞﾙでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場では日銀が10月の金融政策決定会合で追加利下げを急ぐ必要性は乏しいとみているとの関係筋の話が伝わる一方、今後の利上げを排除しないと伝わったことから149.58まで下落するが、その後はすぐ戻し、150.02ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。朝方は米建設許可件数、並びに住宅着工件数(前月比)が予想を下回り、ﾄﾞﾙ円は149.79まで下落する。その後も昨日小売売上高や新規失業保険申請件数を受け上昇していた米金利が低下する動きにﾄﾞﾙ売りが継続し149.37まで下落する。午後は週末を控え149.50付近での閑散な取引が続き、149.53ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞした。一方、昨日のﾊﾄ派なECB理事会結果を受け、次回の会合での50bpの期待も強まり、海外市場のﾕｰﾛﾄﾞﾙは一時1.0828まで下落するが、その後は週末を控え買い戻しが強まり1.0848ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。朝方は、米住宅関連指標結果を受けたﾄﾞﾙ売りに1.0869まで上昇する。午後は、週末を控え積極的な取引は控えられ、狭いﾚﾝｼﾞでの推移が続き、1.0867ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞした。

【昨日の指標等】

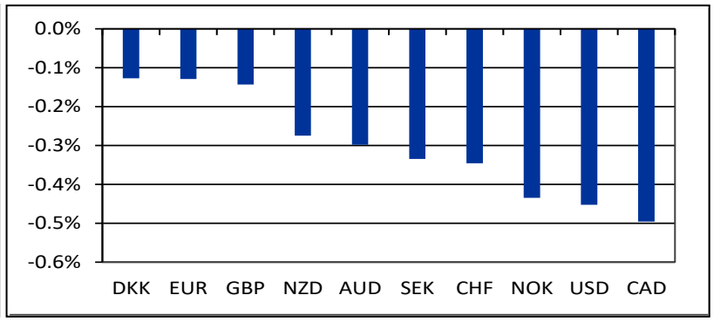
Date	Time		Event		結果	予想
10月18日	08:30	日	全国CPI/全国コアCPI/全国コアコアCPI	9月	2.5%/2.4%/2.1%	2.5%/2.3%/2.0%
	11:00	中	GDP(前年比)	3Q	4.6%	4.5%
	11:00	中	鉱工業生産(前年比)	9月	5.4%	4.6%
	11:00	中	小売売上高(前年比)	9月	3.2%	2.5%
	15:00	英	小売売上高(除自動車燃料、前月比/前年比)	9月	0.3%/4.0%	-0.3%/3.1%
	21:30	米	住宅着工件数	9月	1354k	1350k
	21:30	米	建設許可件数	9月	1428k	1460k
	21:30	米	住宅着工件数(前月比)	9月	-0.5%	-0.4%
	21:30	米	住宅建設許可(前月比)	9月	-2.9%	-0.7%
10月19日	01:30	米	ボスティック・アトランタ連銀総裁 講演「金利を中立金利まで引き下げることを急いではいない」			

【本日の予定】

Date	Time		Event		予想	前回
10月21日	15:00	独	PPI(前月比/前年比)	9月	-0.2%/-1.1%	0.2%/-0.8%
	21:55	米	ローガン・ダラス連銀総裁 講演	-	-	-

【ドル円相場】

【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	149.00-150.50	1.0800-1.0900	162.00-163.50

【マーケット・インプレッション】

先週末金曜日のドル円は上値重く推移。150円を挟んだ神経質な展開となったが、米国時間に発表された米住宅関連指標が弱含むと上昇していた米金利が上げ幅を縮小する動きにドル円相場も値を下げ、結局149円台半ばで越週した。本日のドル円は再び150円を意識した底堅い推移を予想する。足元の円安進行を受けて本邦当局者からも円安けん制が増えているほか、国内輸出勢からのドル売りフローも上値を押さえたことで一時的に150円を割り込んでいるという印象。ただ、FED高官からのタカ派スタンスは維持され米金利は高止まりしていることから中期的な地合いは不変。本日は目立った経済指標は予定されていない。149円台前半では実需のドル買いが予想され、米大統領選が近づきトランプトレードが意識される中、本日も底堅い推移となるだろう。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:西・岩下